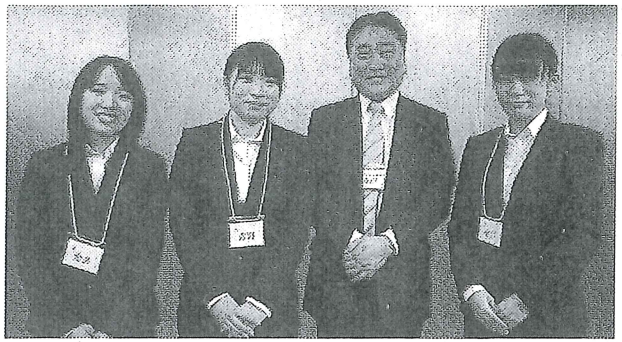
2016年(平成28年)1月14日　第3110号　(通算3521号)

和光コンピューター 寺川社長「社会の公器に」

忘年会で決意示す

2015年「光和コンピューター忘年会」の席上、寺川光男新社長は今年を「企業理念を全社的に浸透させ、〈社会の公器〉と認められる会社を目指す1年とする」と訴えた。また、新入社員6人が各部署で活躍し、書協の賛助会員として、出版社に貢献できる道が開けたことを昨期のトピックスに挙げた。

「社会貢献しない企業は生き残れない」と指摘した柴崎和博取締役は今期売上計画に言及した。「売上・利益面ともに2桁増の計画である。そのために営業を強化、再度右肩上がりにもっていく」と協力を求めた。



今年の新人社員と寺川社長（右から2番目）

同社のプロジェクトチームは数年をかけて、会社存続のための理念を策定。「当社は『社会の公器』である。我々はお客様のお役に立ち、社員の生活基盤を確立し、お互いの人間的成長の場となるために存在する」と謳っている。

寺川社長はこれを「会社が存続するための成果物」と位置づけたうえで、「出版社に役立つという姿勢を明確にして、システム技術者集団で生き残っていく」と社員を鼓舞した。

2016年1月1日現在の従業員数（パート含む）は115人。今年度の新入社員は4人。

新文化
出版界唯一の専門紙
株式会社 新文化通信社
郵便番号 170-0005
東京都豊島区南大塚2-39-7 ヤマモト大塚ビル
電話 03-3942-5561
FAX編集03-3942-5568
振替東京00170-7-56511
発行人 丸島基和
本紙購読料金
半年…15,000円（税込）
（毎週木曜日発行）
Shinbunka online
www.shinbunka.co.jp/

株式会社光和コンピューター

KOWA
COMPUTER

品質方針

当社は、会社の事業を通じて顧客の志向を把握し、関連法規・法令を順守し、品質マネジメントシステムの有効性を持続的に改善することにより、お客様の満足を得られる製品・サービスを作り出し、会社の発展に寄与します。

品質目標

顧客満足の向上を目標とし、その達成のために以下の活動を実践します。
1.品質マネジメントシステムの確立と持続的改善
2.製品・サービスの品質向上と持続的改善

この品質方針と目標は、従業員及び関連する人々に周知し、毎年見直しを行うものとします。

2010年9月1日　株式会社 光和コンピューター

当社は何のために存在するのか？

「当社は「社会の公器」である。
我々はお客様のお役に立ち、
社員の生活基盤を確立し、
お互いの人間的成長の場となるために存在する。」

こだわりのこころ

1. 主体性をもった行動
2. チームワーク（助け合い・思いやり）
3. お客様のお役に立ち適正利潤を得る
4. お約束を守る（社内・社外）
5. 挨拶・電話対応・身だしなみはビジネスマナーの基本
6. いつでもどこでも報・連・相！
7. 一日一回整理整頓